

最近の主な公表資料等

- 1．スギ花粉症に対する環境省の取り組み
- 2．「平成15年度POPsモニタリング調査結果（暫定）」について
- 3．「化学物質と環境に関する学習関連資料「ケミストリーカードゲーム（正式版）」の完成とホームページ上での公開のお知らせ
- 4．「化学物質ファクトシート - 2003年度版 - 」の作成・公表について

1. スギ花粉症等に対する環境省の取組

環境保健部環境安全課

1. 花粉症保健指導マニュアル及び花粉総飛散量予測

花粉症に関する最新の知見や関連情報を掲載した「花粉症保健指導マニュアル」を環境省ホームページに掲載し情報提供を行っている。

本年度は、通常のマニュアル更新と同時に同マニュアルの関連情報として、過去の花粉総飛散量、前年夏の日照時間、平均気温、花芽の調査の結果を踏まえてNPO花粉情報協会が作成した都道府県別の花粉総飛散予測を公表（平成16年12月27日（金））した。

2. 花粉観測システム（愛称：はなこさん）の稼働

花粉症の方の症状の軽減に資するため、従来に関東、関西地域に加え、今年度は北陸地方も含めた中部地域に花粉自動計測器を配置し花粉観測体制の整備を行ったところである。

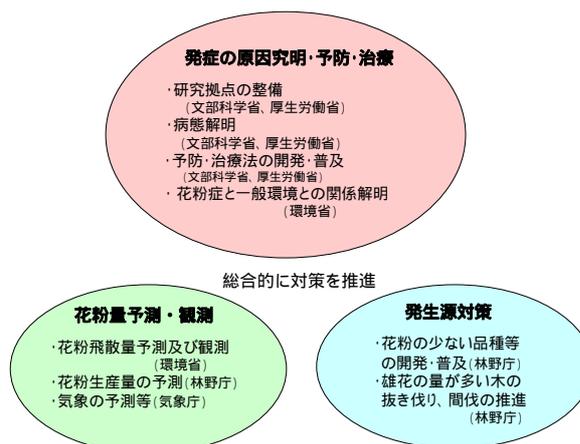
また、花粉の飛散状況をリアルタイムでお知らせするホームページの花粉観測システムを、より見やすい形にリニューアルするとともに、国民の皆様が親しんで頂けるよう、「はなこさん」の愛称をつけ、例年より早く情報提供を開始（平成17年1月14日（金））したところである。

今後も順次花粉観測体制を整備し、全国の花粉飛散状況が把握できる体制の確立を目指し、国民への情報提供の充実を図ることとしている。

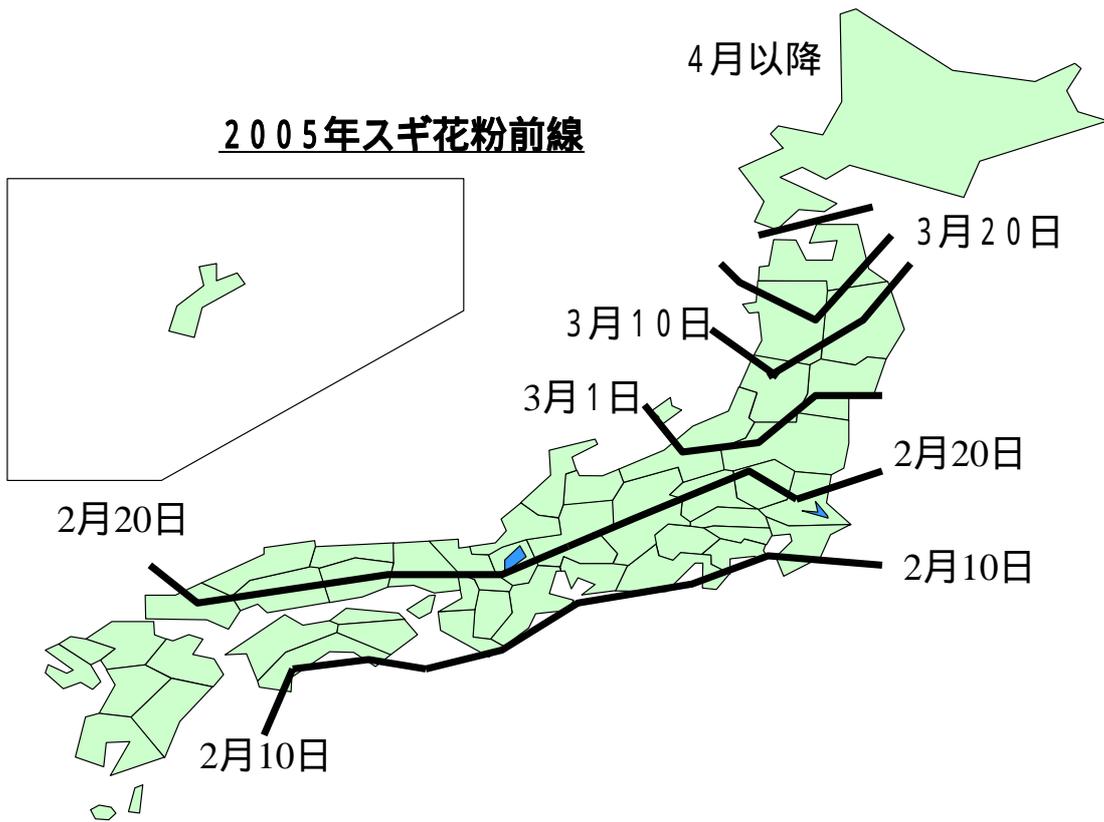
3. 環境省花粉情報サイトの開設（<http://www.env.go.jp/chemi/anzen/kafun/html/index.html>）

環境省において、これまで個別にホームページ上で公開してきた「花粉症保健指導マニュアル」、「花粉飛散予測」、「環境省花粉観測システム（愛称：はなこさん）」などの情報を統合し、関係省庁や自治体の情報も追加した花粉症花粉情報サイトを開設し、平成17年1月28日（金）から運用を開始した。

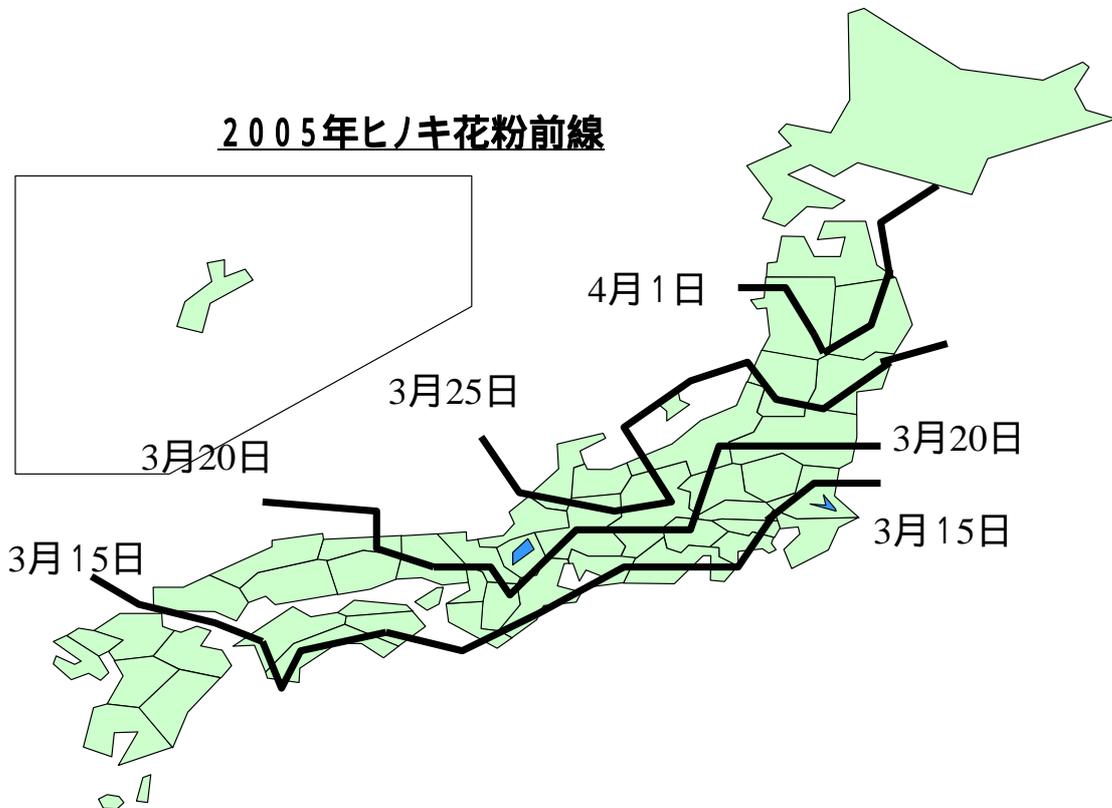
各省連携図



2005年スギ花粉前線



2005年ヒノキ花粉前線



都道府県別花粉総飛散量(平成17年予測データを含む)

地点名	平成17年 予測	平成16年 実測	10年平均	平成7年*5 実測花粉数	平成6年*5 実測花粉数	平成16年 日照時間	平成15年 日照時間	平成16年 平均気温	平成15年 平均気温
札幌	91	41	61			162.8	185.9	21.3	17.7
札幌*2	389	555	364						
旭川*2	996	2405	938			178.4	92.2	17.9	20.3
函館	1419	726	988			168.3	89.3	21.5	16.5
青森	3953	1903	2694	6893	317	171.0	140.6	22.7	18.1
秋田	1653	962	1017	3579	77	160.4	134.8	24.1	20.8
盛岡	6449	3781	3587	12980	817	156.8	74.9	23.2	18.8
宮城	4949	922	2123	7859	274	196.2	34.2	23.8	18.4
福島	8532	1126	4295	16655	695	191.4	49.4	25.6	19.6
山形	6371	609	2414	9424	508	213.6	92.9	25.1	20.2
水戸	15078	826	5855	13001	388	230.3	60.5	25.2	20.2
宇都宮	10532	525	4503	8421	233	189.0	37.1	26.4	21.2
前橋	10623	600	5130	6993	214	221.9	62.6	27.8	22.0
坂戸	17688	847	8411	3782	659	230.1	64.7	28.2	22.2
船橋	4939	491	2238	4598	216	249.3	57.4	27.5	22.3
東京	8227	479	3536	8018	331	232.2	48.2	28.5	22.8
横浜	5328	352	2351	4719	181	262.7	52.4	27.5	22.4
甲府	11946	257	4300	19362	323	234.1	87.6	27.9	23.3
長野	4774	430	2523	6916	505	227.8	121.1	25.4	21.7
新潟	3016	719	1688	7505	257	212.8	128.0	26.0	22.0
富山	3518	961	1582			196.7	65.4	26.8	22.5
福井	3719	92	2438			200.2	51.7	27.3	22.7
金沢	3423	319	1790			196.7	75.0	27.3	22.8
静岡	14629	502	6290	20791	350	212.6	63.8	27.8	23.4
浜松	13341	1908	5724						
名古屋*1	15913	969	6298	19912	655	236.0	95.1	28.6	23.7
岐阜	9460	261	3551	9160	197	231.9	112.6	28.9	23.7
津	3634	158	1420	4697	154	241.6	105.9	28.7	24.0
大津	10945	192	4462	15364	136	241.0	95.2	27.5	23.0
京都	9116	187	3930	14268	256	218.1	72.5	28.9	24.3
大阪	7199	234	2642	8057	129	264.5	120.6	29.5	25.3
神戸	10699	232	3808	17182	284	252.4	100.7	28.9	25.2
和歌山	3710	230	1649	4656	145	281.5	144.9	28.7	25.4
奈良	9436	458	4200	12981	438	222.7	99.9	27.6	23.4
岡山	5324	201	1217	8095	431	234.0	119.5	29.2	25.1
広島	4899	166	1439	6841	121	249.4	129.0	28.9	24.7
米子	6773	471	2817	5037		230.8	79.4	27.9	23.2
松江	5110	52	2094	7003	55	223.9	56.1	27.5	22.6
山口	7068	223	2651	15962	772	210.7	103.1	28.0	24.4
高松	6171	532	2069	9447	40	264.4	133.1	29.1	25.4
徳島	6060	575	2218	5725	148	278.7	140.7	28.6	25.2
松山	10999	972	3558	13709	350	292.3	133.3	28.6	25.4
高知	8354	2178	3155	7116	364	251.6	138.7	28.5	25.8
福岡	6246	190	2524	7008	124	218.2	100.8	28.7	25.5
佐賀	3837	320	2038	6176	151	221.7	99.3	28.3	25.6
長崎	3347	546	1786	5615	168	230.0	114.0	27.9	26.0
熊本	3761	399	1452	8207	192	249.5	108.1	28.9	26.4
大分	8241	490	2902	11738	288	272.1	119.5	28.5	25.4
宮崎	5368	2185	2427	5669	171	301.7	179.8	28.9	27.3
鹿児島	3003	1217	1330	5223	164	254.4	148.6	28.8	28.1

*1:名古屋は観測方法がロータリー型、他はダーラム型

NPO花粉情報協会作成

*2:札幌・旭川のシラカバの花粉数

*3:花粉数はスギとヒノキの合計値

*4:気象条件は7月の値

*5:平成元年以降で最大の飛散量であった平成7年とその年前の平成6年のデータを今回との比較のため掲載

環境省花粉情報サイト

花粉飛散予測(平成17年1月20日環境省発表)

- 都道府県別花粉総飛散量(平成17年春分の予測データを含む) [PDF]
- 平成17年スギ・ヒノキ花粉前線予測 [PDF]

花粉飛散観測

環境省花粉観測システム(愛称:はなこさん)

花粉飛散状況をリアルタイムで地図上と表、グラフでみることができます。

花粉症保健指導マニュアル

環境省が作成し、公表している保健活動にかかわる方々向けの保健指導マニュアル。「花粉症とは」「保健指導のあり方」「花粉について」「対策」について紹介しています。

花粉症に関する調査研究

- 大気汚染と花粉症の相互作用に関する調査研究結果(平成14年度分)について(報道発表資料)
大気汚染と花粉症の関係について環境省で行った研究です。

スギ花粉症に関する関係省庁担当者連絡会議

スギ花粉症の諸問題について検討するため、文部科学省、厚生労働省、林野庁、気象庁、環境省でスギ花粉症に関する関係省庁担当者会議を設置しています。

リンク集

厚生労働省「花粉症特集」

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/kenkou/ryumachi/kafun.html>

林野庁「スギ・ヒノキ花粉に関する情報」

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyukai/kafun/kafuntop.html>

独立行政法人理化学研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター

<http://www.rcai.riken.go.jp/>

NPO花粉情報協会

<http://pollen-net.com/>

地域情報(順次掲載予定)

北海道立衛生研究所

<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/>

青森県農林総合研究センター林業試験場

<http://apple.net.pref.aomori.jp/rinshi/>

岩手県福祉保健部保健衛生課

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/kafun/index.htm>

秋田県健康福祉部健康対策課

2. 「平成15年度POPsモニタリング調査結果(暫定)」について

平成17年 1月19日(水)
環境省 環境保健部 環境安全課

環境省は、「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」(POPs条約)に定められたPCB類、HCB、DDT類等の化学物質に関する環境中の存在状況の監視及び国内実施計画の策定のための基礎資料を作成することを目的として、平成14年度からPOPsモニタリング調査を開始したところである。

今般、平成15年度調査結果を取りまとめたので公表する。

主な内容としては、「我が国周辺のPOPs濃度レベルは、全体的には横ばい或いは低減傾向とみなすことができ、特段の増加傾向は認められない。しかしながら、いくつかの地点で相対的に高濃度を示す事例が観察されている。また、国内での使用記録のないトキサフェン類、マイレックスが大気中に微量検出されたことなどから、引き続き、東アジア地域、地球レベルの長距離移動も視野に入れた継続的な監視、解析が求められる。」などである。

今後の予定

本調査結果は、黒本調査結果と併せて平成15年度のモニタリング調査結果として取りまとめ、中央環境審議会化学物質評価専門委員会(3月上旬開催予定)において審議を頂いた上で、公表する予定である。

3 . 化学物質と環境に関する学習関連資料「ケミストリーカードゲーム（正式版）」の完成とホームページ上での公開のお知らせ

平成16年10月21日（木）
環境省環境保健部環境安全課

化学物質やそれを含む製品は私たちの日常生活に非常に身近なものですが、化学物質とその環境リスク（人の健康や生態系に影響を及ぼすおそれ）は多くの人々にとって理解するのが難しいものです。そのため、環境省では、化学物質と環境に関して子供でも楽しく遊びながら学習できる学習関連資料を作成しています。

この度、パソコン上で遊びながら学習できる「ケミストリーカードゲーム（正式版）*」が完成しましたので、本日より環境省リスクコミュニケーションホームページ上で公開いたします。

これは、平成15年3月から4月にかけて御応募いただいた学習関連資料のアイデアの中から「ケミストリーカードゲーム」、「ころころカンパニー」、「こざるのそうじ」の3点を選定し、その試作版を作成して、これらを平成15年12月に公表してインターネット等による人気投票を行った結果、最多票を獲得したものです。

* 環境省リスクコミュニケーションホームページ（<http://www.env.go.jp/chemi/communication/index.html>）にある「ケミストリーカードゲーム」上で遊ぶことができます。

また、このホームページに掲載されているPDFファイルを台紙に印刷してカードを作成し、お友達と遊ぶことも可能です。

なお、カードとして入手を希望される方は、下記において購入が可能です。

購入連絡先

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-7-24（トゥーラント 88 ビル）

（社）環境情報科学センター TEL：03-3265-3916（直通） 担当：磯部、村上

4. 「化学物質ファクトシート - 2003年度版 - 」の作成・公表について

(お知らせ)

平成16年10月21日(木)
環境省環境保健部環境安全課

化学物質とその環境リスクの問題は、日常生活における身近な環境問題として社会的に関心が高いものの1つです。

その一方で、化学物質に関して提供される様々な情報は専門的かつ断片的なものが多いため、専門家以外の人々にとって正確に理解することが難しいものです。そのため、誤解に基づく無用な不安を引き起こしてしまうおそれがあるばかりでなく、私たちが普段の生活の中で行うことのできる環境リスクの削減のための取組を進める上でも障害になっています。

このため、環境省では、平成15年度から、(社)環境情報科学センターへの請負業務として、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)」の対象となっている化学物質について、専門的で分かりにくい化学物質の情報を分かりやすく整理し、専門家以外の方にもよく理解していただけるよう簡潔にまとめた「化学物質ファクトシート」の作成を開始いたしました。そして、先般請負先において実施した本ファクトシートの暫定版の公表と御意見等の募集の結果等を踏まえて必要な修正を行い、この度、2003年度版として、47物質について取りまとめました。

本ファクトシートについては、化学物質を取り扱われる事業者や消費者など様々な立場の方々の化学物質や化学品に対する正確な情報の把握と理解を促進することにより、化学物質による環境リスクの削減に向けた適切な化学物質管理を進められるよう、化管法の対象となっている化学物質について順次作成することとしております。

化学物質ファクトシートの概要

本ファクトシートの作成に当たっては、専門的で分かりにくい化学物質の情報を分かりやすく整理し、専門家以外の方でもよく理解できるものとなるよう心がけました。

本ファクトシートは、1物質当たり、文章で2頁、表で1頁程度となるように構成されています。先頭に、物質名、別名、PRTR 政令番号、CAS 番号及び構造式を記載するとともに、数行の囲み概要を設けています。続いて、「用途」「排出」「環境中での動き」「健康影響 - 毒性、体内への吸収、影響」及び「生態影響」の順に記載しています。また、普段の生活で馴染みのない「専門用語」には下線を付け、別途「用語解説」を作成して説明しています。更に、各シートの最後には、当該物質の基本的な情報の一覧表(性状、生産量、排出量、PRTR 対象選定理由、環境データ、適用法令等)と引用・参考文献のリストを掲載しています。

なお、今回の2003年度版ファクトシートの対象となった化学物質については、基本的に、平成13年度のPRTR集計結果を基に排出量の多いものから選定いたしました。